

OSAKA

大阪版

未来の年表 A.D.2019 ▶▶▶ A.D.2046

Azuma Toru

参议院議員

東 徹

これから先、
大阪に起きる大きな変化を、
一緒に覗いてみませんか…





発行にあたって

最初に、2019（令和元）年7月21日、参議院選挙大阪選挙区におきまして2期目の当選を果たすことができましたことに、心より感謝申し上げます。

振り返りますと、府議会議員7年目の2010年4月に大阪維新の会設立に参画し、2012年に日本維新の会を設立、2013年に参議院議員に初当選させていただきました。

この間、「衰退する大阪を成長する大阪に変えたい」「大阪都構想を実現させたい」「東京一極集中に歯止めをかけたい」という思いで走り続けてきました。

昨年11月に2025年大阪万博誘致が決定され、IRの誘致も目途が見えてきました。今年の6月にはG20大阪サミットが開催され、ようやく大阪に成長の兆しを実感できるようになってきました。そのことが今回の参議院選挙の勝利に繋がったものと考えています。

「大阪の成長こそが日本の成長に繋がる」「大阪から日本を変える」という信念のもと、大阪が成長することによって必ず日本が成長する、そのような大阪をつくることに全力で取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、今年の2月、大阪の未来について総論的にまとめた資料があると具体的に大阪の未来像をイメージしやすいのではと思ひ、東事務所で「大阪版 未来の年表」として取りまとめました。本資料は、それをベースに改定を加えた「第2版」です。是非お読みいただき、大阪に夢と誇りを感じていただければ大変有難く思います。



ともに素晴らしい未来社会を築いてまいりましょう。

令和元年9月 参議院議員 東 徹

目指すは
大阪の副首都化!!



- 1 大阪へのIR誘致
- 2 府市統合
- 3 大阪万博

2019	2020 P3~P7	2021 P8	2022 P9	2023 P10	2023~2024 P11	2024 P12~14	2025 P15~P16	2026 P17	2027 P18	2029 P18	2031 P19	2037 P20	2046 P21
消費増税 ラグビーワールドカップ開催 G20大阪サミット開催 天皇陛下退位 JRおおさか東線全線開業	大阪都構想住民投票 東京オリンピックピック・パラリンピック開催 阪神高速6号大和川線開通 こども本の森 中之島開館	大阪中之島美術館開館	星野リゾート新今宮駅前開業	未来医療国際研究拠点オープン	大阪都構想特別区設置	IR施設開業 大阪メトロ中央線延伸 うめきた2期地区一部開業	2025年大阪万博開催	阪神高速淀川左岸線2期工事完了	リニア中央新幹線開通(品川-名古屋間) コスモスクエア地区複合一体開発事業完了	大阪モノレール延伸	新線「なにわ筋線」開業	リニア中央新幹線全線開通 (新大阪-品川間)	北陸新幹線全線開通(新大阪-東京間)
													

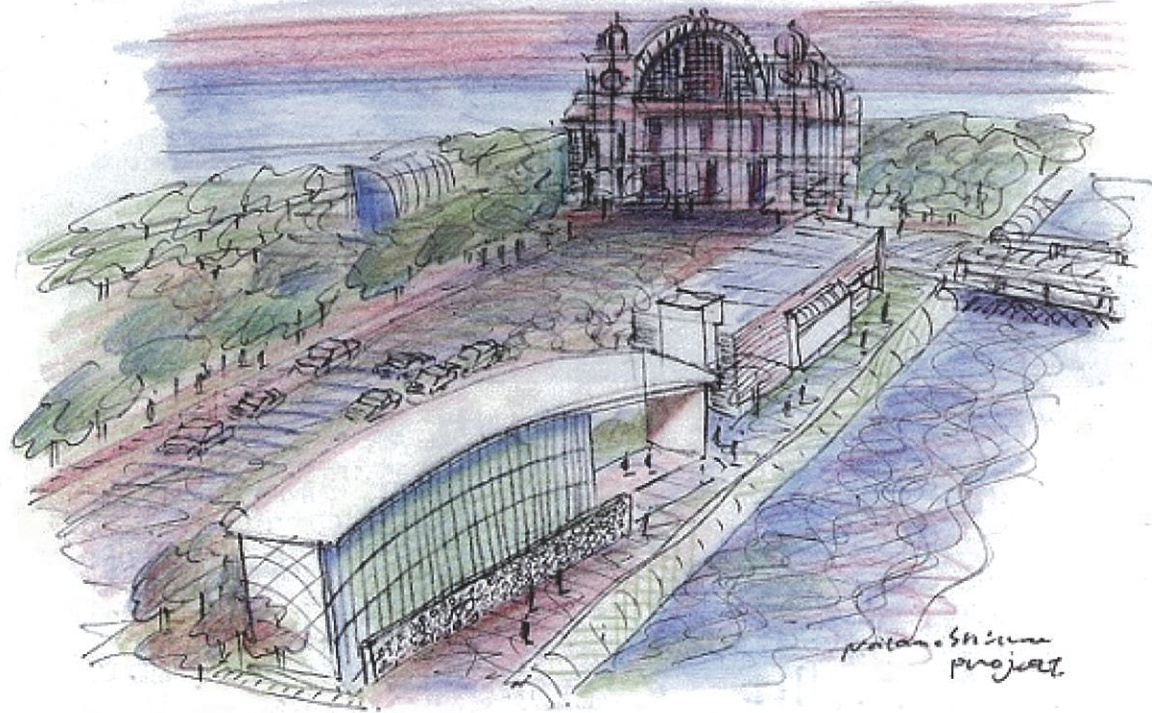
2020年「こども本の森 中之島」開館

2020年3月、中之島公園に「こども本の森 中之島」が開館します。

同館は、子ども向けの図書施設として、建築家の安藤忠雄氏が設計し、大阪市に寄贈されるもので、名誉館長には、山中伸弥京都大学教授が就任します。

8月18日に行われた講演会で、山中氏は「今の自分があるのは、子どものときにいろんな本を読んだから。たくさん子どもたちが他に類のない図書館で本に触れ、将来活躍することを願っている」と話し、安藤氏は「本を読んで、考え悩み、生きる力を身につけてほしい」と語りました。

松井市長は「大阪から第二の山中先生と呼ばれるような人材が輩出されることを願っている」と話しました。

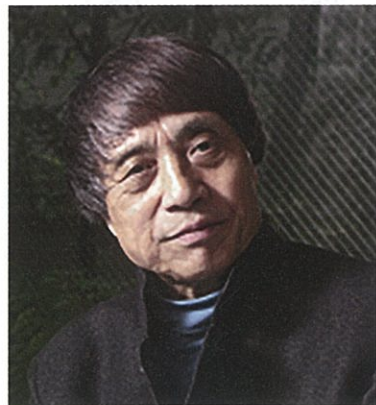


建物の概要

- 構造: 鉄筋コンクリート造 3階建
- 延床面積: 約800平方メートル
- 所在地: 大阪市北区中之島1丁目(中之島公園内)
- 開館予定: 2020年3月



8月18日の講演会の様子



安藤忠雄氏



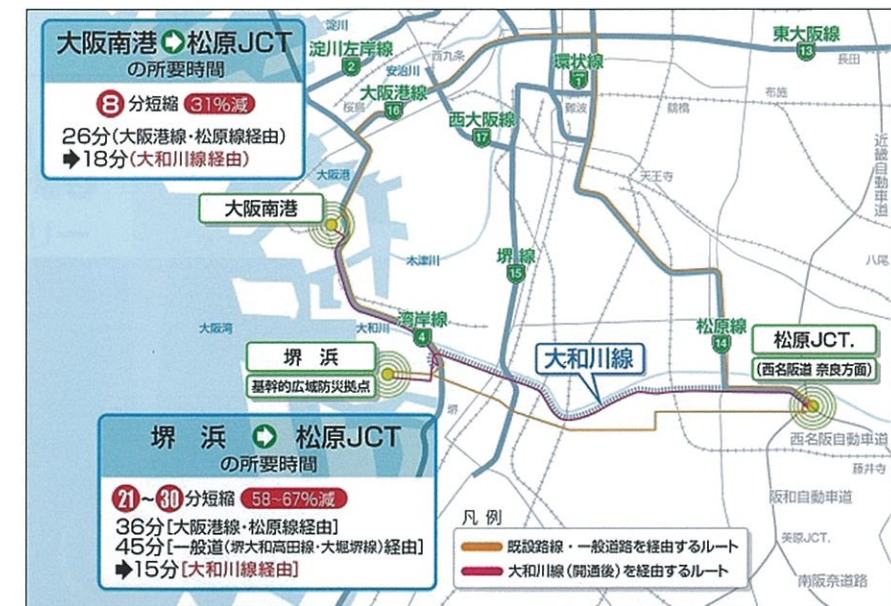
山中伸弥教授

2020年 阪神高速6号大和川線開通

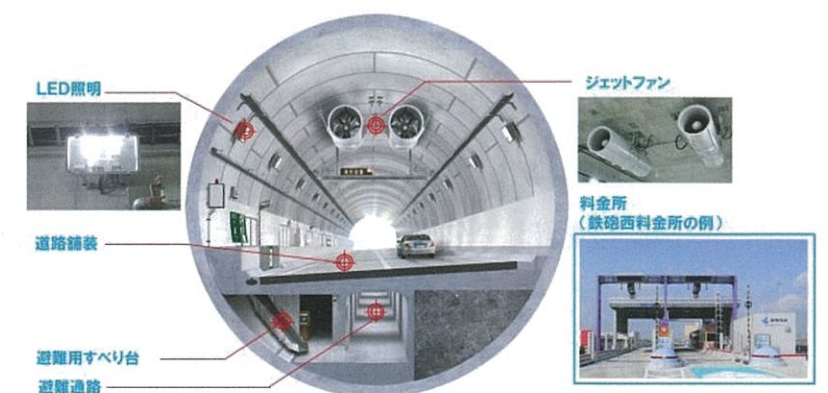
阪神高速6号大和川線は、現在(2019年9月)、未開通の「鉄砲～三宅西」区間の工事が行われており、2020年春の全線開通を目指しています。

大和川線には、5カ所(三宝、鉄砲、常磐、天美、三宅西)の出入口があり、それぞれが国道・府道に接続されています。大和川線の開通により、環状線や大阪港線などの都心部を避けたルートを選択が可能となり、奈良県内からの交通が集中する西名阪沿線地域と大阪湾岸地域へのアクセスが向上します。

また、災害時の応急活動の中心となる「堺泉北港堺2区基幹広域防災拠点」から、内陸部へのルートができ、災害時の迅速な対応が期待されます。



※大和川線の7割は地下トンネル構造となっており、シールドトンネル区間では、シールドトンネルの道路下部空間へすべり台を使って避難する関西初の避難形式を採用しています。



2020年 東京オリンピック・パラリンピック大会開催

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会では、オリンピック競技大会で33競技339種目、パラリンピック競技大会で22競技540種目の開催が予定されています。

東京オリンピック・パラリンピック大会の経済効果について、東京都は、全国で約32兆3000億円と試算しています(雇用増加数は約194万人)*。

*大会招致の決まった2013年から大会終了10年後の2030年までの18年間の効果。

- **オリンピック競技大会**
開会式 7月24日 閉会式 8月9日
(ソフトボール・サッカーは7月22日)
- **パラリンピック競技大会**
開会式 8月25日 閉会式 9月6日

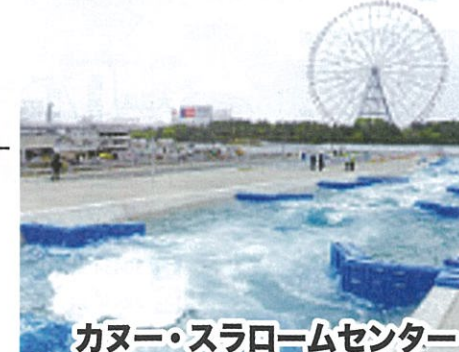
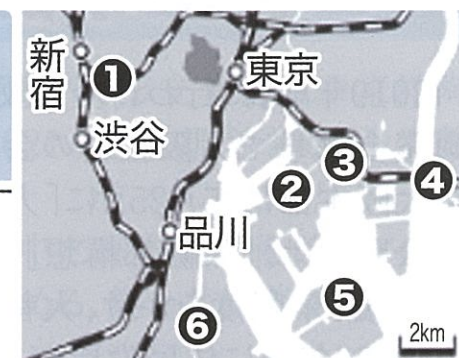


現在も競技会場や選手村の整備が進められていますが、大会後の改修や維持費などで赤字を見込む会場も多く、大会後の利用のあり方が課題となっています。

新国立競技場は、当初の案では、大会後はコンセッション方式を前提として球技専用とされていましたが、100億円程度の改修費や維持費をまかなうだけの利用のめどが立たず、球技専用とせずに陸上用トラックを残すなど、利用のあり方を再検討しています。

東京五輪の主な新設会場と大会後の利用について

場所	会場名 ・五輪での実施競技	整備費 年間収支見込み (年間来場目標)	後利用について
東京都新宿区	新国立競技場① ・開閉会式 ・陸上競技 ・サッカー	最大 1670 億円 — (—)	一度は球技専用とする基本方針を決定したが、陸上のトラックを残すか再検討
江東区	有明体操競技場② ・体操	253 億円 — (—)	10年程度、中小企業振興のための展示場として活用する方針
	有明アリーナ② ・バレーボール	370 億円 3億5600 万円 (140万人)	国際大会やコンサートなどで利用促進を図る
	東京アクアティクスセンター③ ・水泳	567 億円 ▼6億3800 万円 (100万人)	座席数を3分の1の5000席に削減
江戸川区	夢の島公園アーチェリー場③ ・アーチェリー	9 億円 ▼1200 万円 (3万3000人)	年間20大会の開催と芝生広場を活用した音楽イベントなどを開催
	カヌー・スラロームセンター④ ・カヌー(スラローム)	73 億円 ▼1億8600 万円 (10万人)	国際大会の開催のほか、一般向けのラフティング体験などを開催
東京湾岸	海の森水上競技場⑤ ・ボート ・カヌー(スプリント)	308 億円 ▼1億5800 万円 (35万人)	国際大会や強化合宿の開催などのほか、水上レジャー体験などを開催
品川・大田区	大井ホッケー競技場⑥ ・ホッケー	48 億円 ▼9200 万円 (20万人)	国際大会の誘致などのほか、サッカーやラグクロスなどで利用



※①の整備費は日本スポーツ振興センター発表。②～⑥の整備費、年間来場目標、年間収支見込みは東京都の施設運営計画などに基づく。—は試算の公表なし。▼はマイナス

2020年秋 大阪都構想住民投票

2019年4月に行われた大阪府知事・市長のダブル選挙の圧勝や、大阪府・大阪市の両議会選挙で大阪維新の会の議席が伸びたことなどをふまえ、大阪維新の会と公明党大阪本部は、5月25日に「大阪都構想」を推進していくことで合意しました。

公明党は、「大阪都構想」自体に賛成することを記者会見で表明しました。

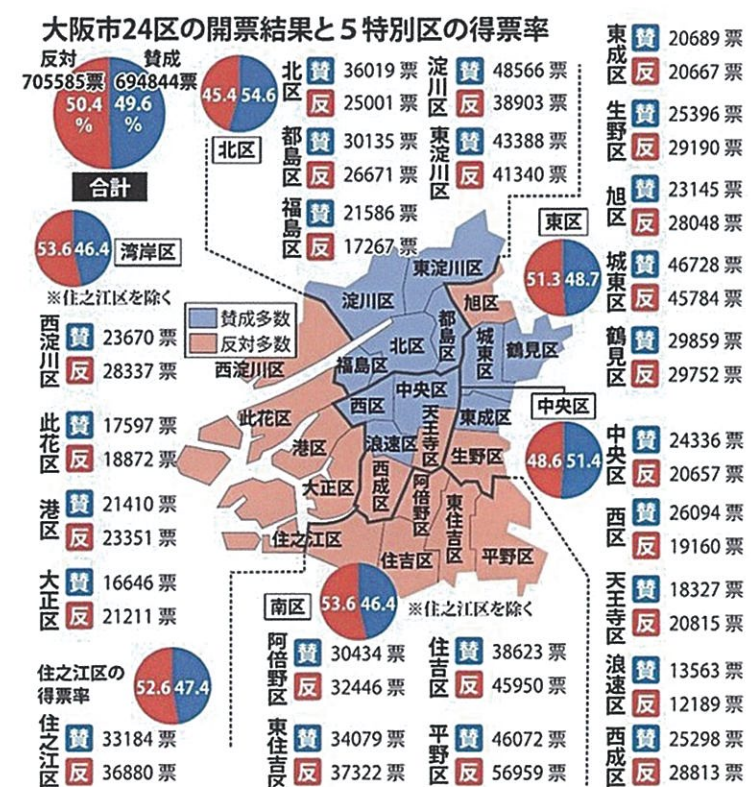
今後1年程度をかけ、大都市制度(特別区設置)協議会で都構想の設計図をまとめ、2020年秋に住民投票が行われます。

大阪都構想の実現へのプロセスとしては、大都市地域特別区設置法に基づき、

- (1) 大阪府と大阪市による大都市制度(特別区設置)協議会 ※いわゆる法定協議会
 - (2) 大阪府議会と大阪市区
 - (3) 大阪市民対象の住民投票
- のそれぞれの段階で制度案を可決する必要があります。

制度案が大阪府・大阪市の両議会で可決された場合、60日以内に住民投票が実施されます。2015年5月に初めて実施された住民投票では、賛成約69万票、反対約70万票という僅差で否決となりました。

2020年秋に見込まれる住民投票で、過半数の賛成を得られれば、そこから3~4年かけて特別区に移行することとなり、2025年の国際博覧会(大阪・関西万博)は「大阪都」で迎えることになります。



2019年5月25日 共同記者会見をする大阪維新の会松井代表と公明党大阪府本部の佐藤代表

※前回の投票結果(2015年5月17日実施)

住民投票は僅差だった	
反対 70万5585	賛成 69万4844
投票率 66.83%	

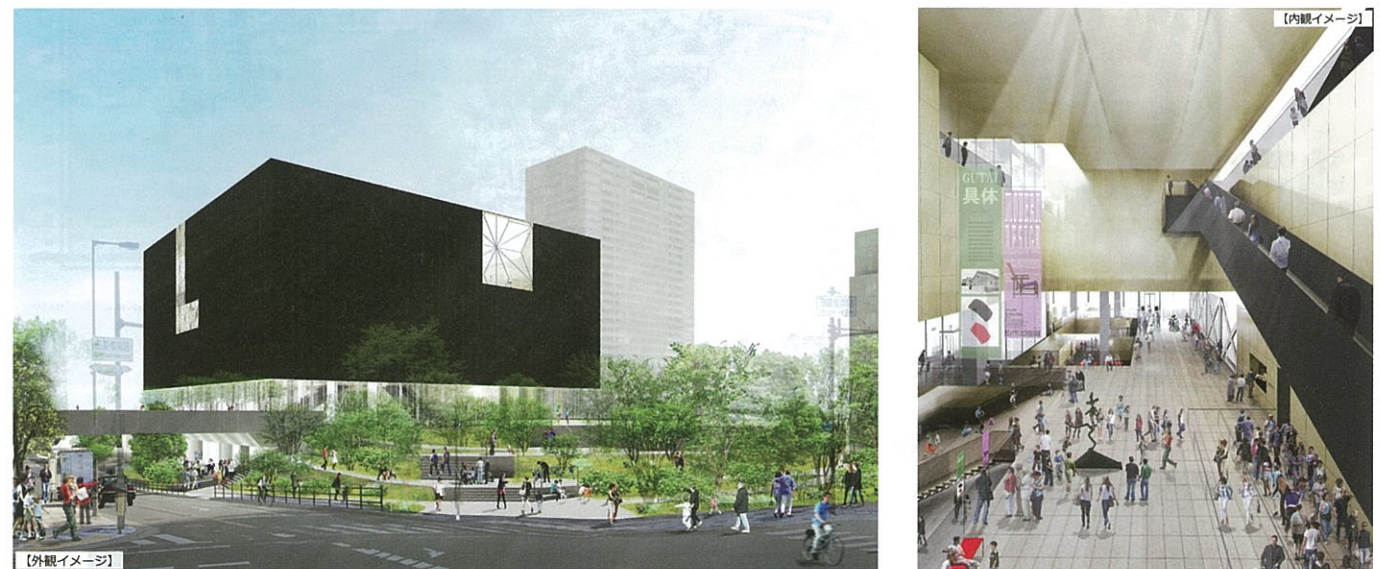
2021年 大阪中之島美術館新設

大阪市は、自らが所蔵する第一級のコレクションを活用して、市立美術館や東洋陶磁美術館とは異なる新たな魅力にあふれる美術館を、2021年度の開館をめざして整備することとしました。

新しい美術館は、国立国際美術館、大阪市立科学館、中之島香雪美術館などの近隣施設とともに、訪れる人が〈中之島〉で過ごす時間を楽しめる、豊かな芸術文化ゾーンとしての中之島の魅力を高めていきます。

大阪中之島美術館では、19世紀後半から今日に至る日本と海外の代表的な美術作品を核としながら、地元大阪で繰り広げられた豊かな芸術活動にも目を向け、約4,600点のご寄贈と約1,100点の購入をあわせた約5,700点のコレクションを所蔵しています(2019年4月寄託品を除く)。

コレクションは、洋画、日本画、海外の近代絵画、現代美術、版画、写真、彫刻、デザインなどの領域にわたります。とりわけ佐伯祐三の名作、モディリアーニの裸婦像、具体美術協会のリーダー・吉原治良の作品、海外作家の代表作などは、国内外で高く評価されています。



さまざまな人と活動が交錯する都市のような美術館

新美術館のめざす姿

- 国内外から注目を集め世界に誇れる美術館
第一級のコレクションの魅力を引き出すコレクション展示室や、さまざまな展覧会にもフレキシブルに対応できる関西最大級の企画展示室を備えます
- これまでにない独自性を有する先進的な美術館
豊富なコレクションによる芸術体験の提供やアーカイブを活用した情報発信、さらには黒い立方体が浮かび上がるような創造性に富んだ建築デザインにより、新たな魅力を創造する美術館をめざします
- 賑わいあふれたまちづくりを主導する美術館
魅力的なサービス施設やオープン空間を備え、幅広い世代の人が楽しめる施設とするとともに、歩行者デッキの新設など周辺施設との連携や都市景観の形成にも配慮します
- 将来にわたり質の高い公共建築として活用される美術館
来館者をはじめ、展覧会の企画運営を担う学芸員、施設の管理運営を担う事業者などすべての人に利用しやすく機能性に優れ、次の世代につながる美術館をめざします

敷地の概要
所在地：大阪市北区中之島4丁目
敷地面積：12,874m²
用途地域：商業地域

建築の概要
階数：地上5階建て(地階なし)
延べ面積：17,305m²(駐車場・駐輪場は除く)
最高高さ：39.05m
構造：鉄骨造/基礎免震

設備の概要
熱源：電気・ガス・地域熱供給(水蓄熱槽併用)
消火設備：ハロゲン化物消火設備(展示室・収蔵庫)
その他：太陽光発電設備・LED照明等

佐伯祐三《郵便配達夫》1928年

2022年 星野リゾート新今宮駅前開業

星野リゾートは、新今宮駅前に開発中の施設を「星野リゾート OMO7大阪新今宮」とし、2019年6月1日に着工しました。

14階建て(客室数436部屋)で、宿泊料金は1室約1万~3万円で、2022年4月に開業予定です。

星野リゾートによれば、「大阪の街をもっと楽しく、テンションの上がる旅を」をコンセプトに、施設内ですべてをまかなうのではなく、ホテルから徒歩圏内の「街」を深く知り、エキサイティングなモノに触れ、街に溶け込めるように、「ご近所マップ」と、ガイドブックでは知り得ないスポットや地元の人に愛されるお店を「ご近所ガイド OMOレンジャー」による街案内を行うなど、地域と連携したホテルをつくっていくとのこと。



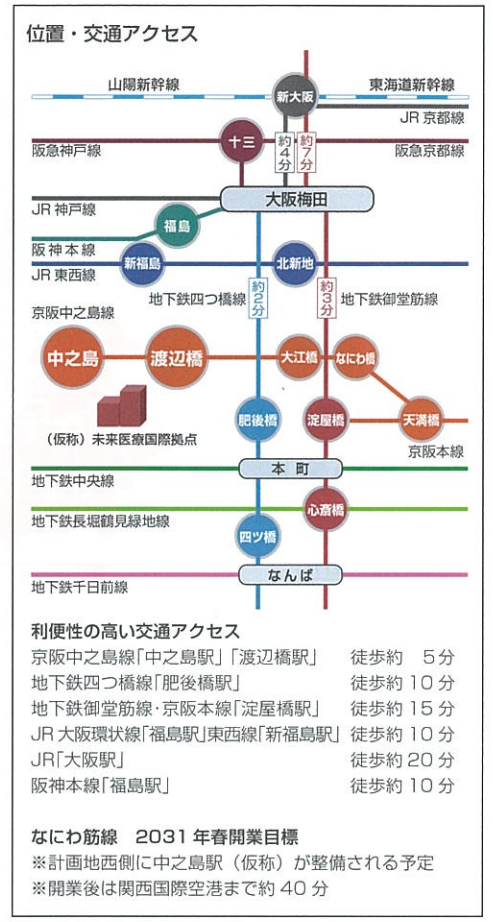
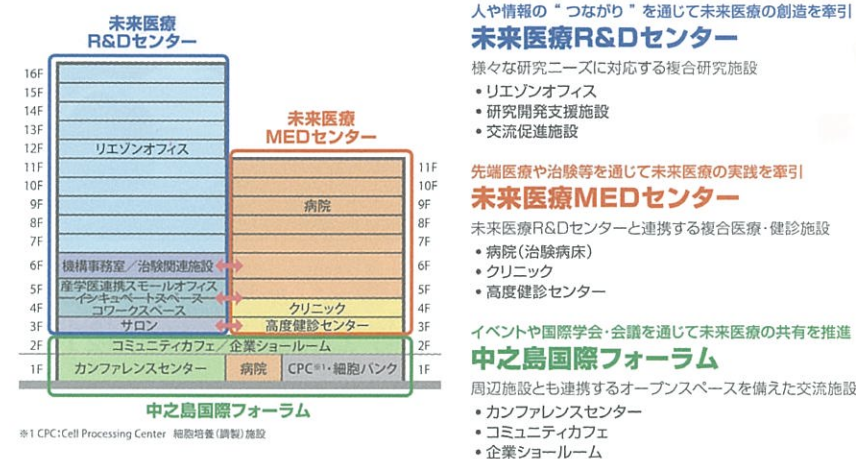
※事業者決定について
長らく遊休地だった敷地約14000m²に対し、大阪市が実施した「浪速区恵美須西3丁目16番街区用地の開発事業者募集プログラム」において星野リゾートの関連会社であるミナミホテルマネジメントが18億円で応札し、事業者に決まりました。

2023年「未来医療国際研究拠点」(大阪市中之島4丁目地区再開発)オープン

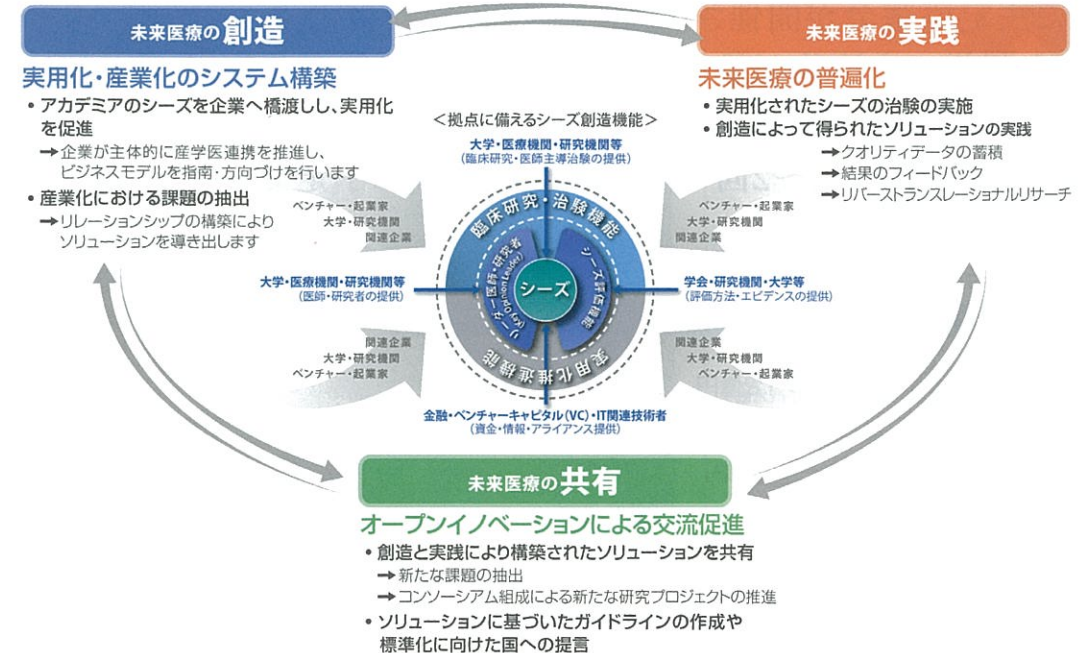
大阪市は、北区中之島4丁目の市有地に、再生医療を中心とした未来医療の国際的な拠点の整備を目指す「中之島4丁目用地における未来医療国際拠点整備・運営事業」について、公募プロポーザルの結果、日本生命保険相互会社を代表とする企業グループを開発事業者を選定しました(応募は同グループ者)。

グループは複合研究施設の未来医療R&Dセンター、医療・健診施設の未来医療MEDセンター、交流施設の中之島国際フォーラムから成る地上17階建て、延べ床面積約5万8000m²の複合施設を提案しました。

グループの構成企業は、代表の日本生命保険のほか京阪ホールディングス、関電不動産開発の三者となっています。建設地は、京阪電鉄中之島駅の東方約200mの場所にあり、面積は8600m²です。整備するのは1・2階部分がつながっている2棟のセンターで、1・2階部分は交流施設の中之島国際フォーラムとなります。



[実用化・産業化のエコシステムのイメージ]

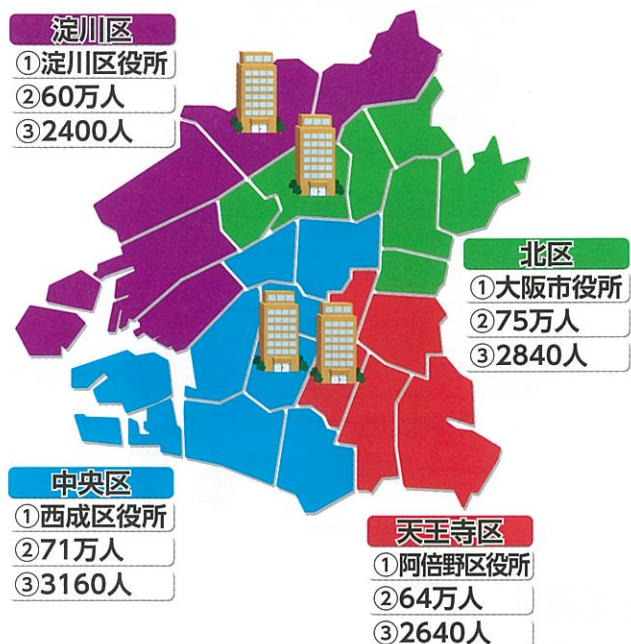


2023~24年 大阪都構想特別区設置

2020年秋の大阪都構想住民投票で賛成多数となると、組織体制の整備やシステム改修などを行い、住民投票の日から概ね3~4年後に特別区が設置される見込みであり、2025年大阪・関西万博は、「大阪都」で開催されることになります。

大阪都の特別区

①特別区役所の設置場所(員) ②人口 ③役所職員数



主要項目	必要期間
① 組織体制の整備	3年程度
② システム改修	3年程度
③ 庁舎整備(建設、賃借・改修)	3~7年程度
④ 街区表示板、住居表示板の変更	2年程度
⑤ その他(広報・周知、関係機関との調整等)	2年程度



大阪都構想による経済効果について、行政運営の効率化等を前提に、移行後10年間で、最大1兆6343億円の経済効果が見込まれています。

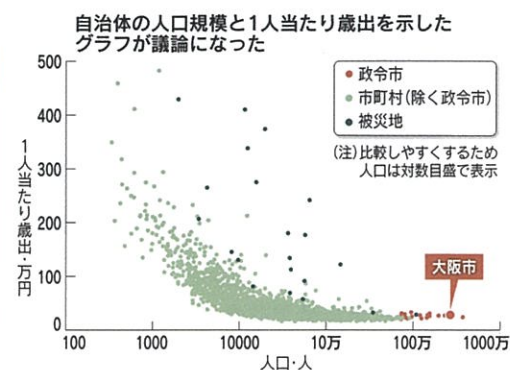
また、特別区設置に伴うコストとして、イニシャルコストが311~558億円、ランニングコストが41~48億円と見込まれています。

8月26日に法定協議会が開催され、この都構想の経済効果と「1人あたりの行政費用は、約50万人規模の自治体が最も小さくなる」という試算の前提について議論されました。松井市長は「数字に幅はあるが、プラス効果しかないことがはっきりした」と述べました。法定協議会は、今後月1~2回のペースで開催される予定です。

○政策効果分析による結果

	総合区	特別区
行政区(総合区)及び基礎自治体(特別区)の財政効率化効果	3億円 ~ 712億円	1兆1040億円 ~ 1兆1409億円
二重行政解消による財政効率化効果	4億円 ~ 39億円	39億円 ~ 67億円
府市連携による社会資本整備の経済効果	0円 ~ 4218億円	4867億円

※2018年11月16日第15回副首都推進本部会議資料
嘉悦大学付属経営経済研究所「大都市制度(総合区設置及び特別区設置)の経済効果に関する調査結果」



2024年 うめきた2期地区一部開業

うめきたとは、1987年の国鉄民営化で売却対象となった旧梅田貨物駅跡地(24ヘクタール)で、その中で最後まで開発されずに残っていたのがうめきた2期地区です。

※1期地区7ヘクタールは、2013年に三菱地所など2期の主要な事業者が参加したグループにより、グランフロント大阪が開業しました。2期地区17ヘクタールは、幹線道路を挟み南北2つの地区に分かれています。総面積4.5ヘクタールの公園も作られ、1万人を集めるイベントも可能です。

2024年にビルの開業が先行して予定されており、2027年に事業全体が完了する見込みです。国鉄民営化から40年を経て地区全体の再開発が実現することになります。

1期、2期の再開発ビルの延べ床面積は計約110万平方メートルと、六本木ヒルズの約79万4千平方メートルを上回り、再開発エリアとしては東京・西新宿や汐留に次ぐ規模のビル群となります。

来訪者数を比較すると、六本木ヒルズは開業5年目で2億人を達成しましたが、うめきた1期のグランフロントは、3年10カ月で到達し、集客力はすでに上回っています。2期が開業すれば、集客ペースはさらに上がるものと見込まれています。



うめきた2期エリア



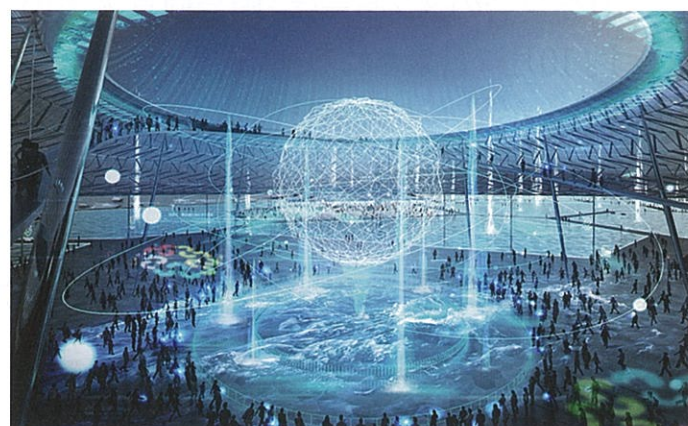
うめきた2期再開発イメージ



2025年 大阪・関西万博開催

2025年大阪・関西万博は、5月から11月までの185日間開催されます。
 今後は、大阪・関西万博の計画具体化に向けて、次の4つの柱のもと準備が進められます。

- ① 持続可能な開発目標(SDGs)達成に続く目標(SDGs+beyond)に向けた様々な取組を加速化すること
- ② 「未来社会の実験場」として新たな技術やサービスの実証等を行っていくこと
- ③ 新たな文化創造、文化交流の場を実現し、日本の飛躍の契機にすること
- ④ 多様な参加者による共創(Co-creation)を実現していくこと



● テーマ
いのち輝く未来社会のデザイン

● 開催期間
 2025年5月3日～11月3日の**185**日間

● 開催地
 人工島「**夢洲(ゆめしま)**」(大阪市此花区)

● 会場面積
 約**155**ヘクタール(東京ドームの約33倍)

● 会場
 中心をつくらずパビリオンを分散配置して、世界が共生する未来社会を表現
 パビリオンは独特な幾何学模様を描くように配置
 大型のシンボルはあえて置かない。大広場「空(くう)」で連日イベントを開き来場者の交流を生む

● 想定入場者数
 約**2800**万人

● 構想のポイント
 国連の掲げる持続可能な開発目標(SDGs)に向けた取り組みを加速させる場とする
 仮想現実(VR)などを使い、世界中から仮想空間上で参加できるようにする
 ロボットや人工知能(AI)など先端技術の実験場として、新しいビジネスの創出を目指す



Society 5.0
 実現型会場の実現

Super Smart Venue



Point

- ▶ AI、ビッグデータなどを活用し、待ち時間、言語の壁といった様々なストレスや制約から解放された、Society 5.0 実現型会場(超スマート会場)とすべき。
- ▶ 「未来社会の実験場」として、革新的な技術、サービス及び社会システムが実証されるプロセスが示される会場とするべき。

Example

- ▶ AIなどの活用により、人の流れを制御することで、入場、会場内の待ち時間ゼロを実現する。キャッシュレス、生体認証システム、世界中の人と会話できる多言語システムを実装する。
- ▶ 地震、台風を意図し、防災・減災技術を駆使したレジリエントな会場を整備するとともに、そのノウハウを世界に発信する。
- ▶ ロボットと人間が心を通わせ共存する社会を示す。
- ▶ 最先端技術を活用しながら、そこでしか体験できないリアルな楽しさ・価値を提供する。

最先端のデジタル環境の整備と
 持続可能性の徹底的な実践

Sustainability



Point

- ▶ Society 5.0 実現型会場実現のための基盤となるデジタル環境整備の検討を進めるべき。
- ▶ SDGs 達成を掲げる万博にふさわしいよう、会場建設や運営など、あらゆる面で環境、持続可能性への配慮を徹底的に追求、実践すべき。

Example

- ▶ 会場内における再生エネルギー100%、水素利用、CO₂ゼロエミッションを実現する。
- ▶ パビリオン自体、またその解体で発生する廃材の利活用を予め織り込んだ設計を行う。
- ▶ 会場が瀬戸内海を臨む立地であることを意識し、自然環境との調和に留意する。

会場外との一体性

Unique Experience Outside the Venue



Point

- ▶ 空港や主要駅から会場までストレスフリーかつシームレスな移動など、会場外でも万博体験を演出すべき。

Example

- ▶ 主要駅-会場間の自動走行、空飛ぶクルマなどの次世代モビリティを実装する。
- ▶ 水都・大阪にふさわしい、会場⇄空港、会場⇄大阪・関西の水陸輸送を活用する。
- ▶ 会場と連携したイベントや街の装飾など、会場外も含めた一貫性のある体験をデザインする。

Society 5.0の実現へ

Society 5.0



Point

- ▶ 万博を通じたSDGs達成に向けた様々な取組を通じて、「課題解決先進国」としての日本の姿(-Society 5.0)をデザインし、その実現に向けた成長戦略を一層加速させるべき。

Example

- ▶ SDGs 達成のための解決策を提示できる、スタートアップをはじめとする民間企業、研究機関などによる最先端技術のショーケースにする。
- ▶ 医療産業都市である関西地域の大学など学術機関と連携し、その強みを生かした解決策を提示する。
- ▶ 民間企業や大学からの提案の公募やコンソーシアムの立ち上げ。
- ▶ 中小企業やベンチャー企業など多様な主体が新たなチャンスをつかみ、世界に飛躍するよう、参加、発信の機会を確保。

インバウンド観光を
 さらなる高みへ

Inbound



Point

- ▶ 万博を、文化、歴史なども含め、日本の魅力を再発見する機会と捉え、「観光大国」を目指して、より付加価値の高い観光の実現を推進していくべき。

Example

- ▶ 関西をゲートウェイとして日本全国の観光地や食などの魅力を外国人に発信し訪問を促す機会(夢洲を起点とした、日本の文化・歴史の周遊パッケージ、瀬戸内海の船旅など)とするとともに、様々な交通事業者の交通情報を一元的に提供するMaaSを構築する。
- ▶ 大阪・関西地域の強みを生かした新たな魅力を創出、発信する(健康、ウェルネスを軸としたツーリズム、VRと伝統文化の融合による新たなコンテンツ創出など)。
- ▶ 多言語対応、ボランティア、民泊の活用を含めた宿泊施設の整備など、外国訪問客受入れ環境を整備する。

会場外のようなイベント・取組との
 積極的なつながり

Associated Events



Point

- ▶ 「参加型」の万博として、関西そして日本全国の自治体や民間企業など、様々な主体による自主的取組を促すべき。

Example

- ▶ 意欲ある自治体や団体などの万博に向けた自主的取組を、関連プロジェクトとして「認定」する。
- ▶ 関西地域の強みとなっているライフサイエンス分野などの大学及び研究機関と万博とをネットワーク化する。
- ▶ 1970年日本万国博覧会の会場跡地でのイベントと連携し、1970年と2025年の比較展示を行う。

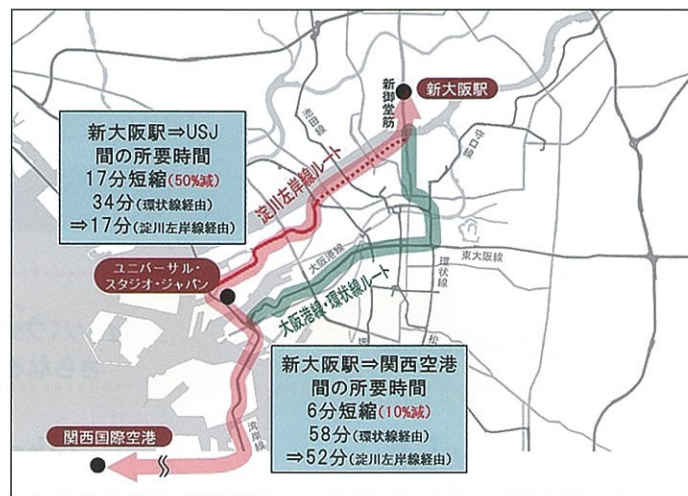
2026年 淀川左岸線2期工事完了

阪神高速淀川左岸線2期事業(4.3km)は、広域幹線道路ネットワークの形成や都心北部地域での交通混雑緩和のため、1996年に都市計画決定され、阪神高速道路公団が2000年から事業を実施していました。

その後、公団民営化に伴う事業の見直しがなされた結果、2006年度より大阪市の街路事業と阪神高速道路(株)の有料道路事業との合併施行にて事業が継続されることとなりました。

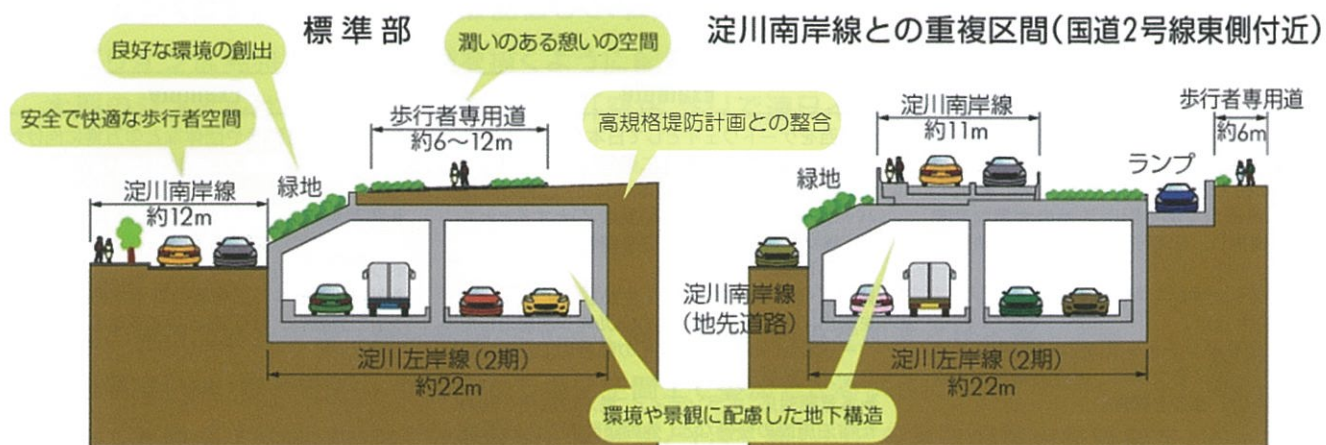
また、淀川左岸線2期事業では、淀川左岸線2期と並行する淀川南岸線もあわせて整備されています。

1期事業(此花区北港～高見5.6km)は開通済みで、2期も開通すれば、阪神高速環状線の渋滞緩和や、USJなどと都心部のアクセス改善が見込まれます(事業費は1期とあわせ4320億円)。



● 淀川左岸線延伸部について

淀川左岸線延伸部は、大阪都市再生環状道路の一部で、門真市から大阪市北区を結ぶ延長8.7kmの道路です。第二京阪道路と接続することで、大阪ベイエリアと名神高速道路などがつながり、物流の効率化や周辺地域の経済活性化などが見込まれています。



2027年 咲洲コスモスクエア地区 複合一体開発事業完了

咲洲コスモスクエア地区では、国際交流・交易機能や高度研究機能、先端技術開発機能・研修機能の強化とともに、居住機能をはじめとする生活利便機能の充実により、魅力ある複合市街地の形成をめざしたまちづくりを進めてきました。今後は、ものづくり企業のアジア交易・交流の拡大に資するビジネス交流拠点の形成をめざすとともに、まちの魅力の向上に資するにぎわい創出と安全・安心の環境整備を進めます。

【2019年4月 咲洲コスモスクエア地区の開発状況】



(凡例) ■ 施設立地済の区画 □ 未利用地(民間等所有地14.7ha) □ 未利用地(市有地8.6ha) □ 都市再生緊急整備地域



2029年 大阪モノレール延伸

大阪モノレールは、現在の「門真市駅(門真市)」から「(仮)瓜生堂駅(東大阪市)」まで、南へ8.9キロ延伸する事業について、2029年の開業を目指しています。

延伸区間では、すべて仮称で「門真南駅」「鴻池新田駅」「荒本駅」「瓜生堂駅」の4駅が、新設される予定です。

それぞれ、大阪メトロ長堀鶴見緑地線やJR学研都市線、近鉄けいはんな線、近鉄奈良線との乗り継ぎが可能となります。総事業費は、約1050億円の見込みです。



2031年 新線「なにわ筋線」開業

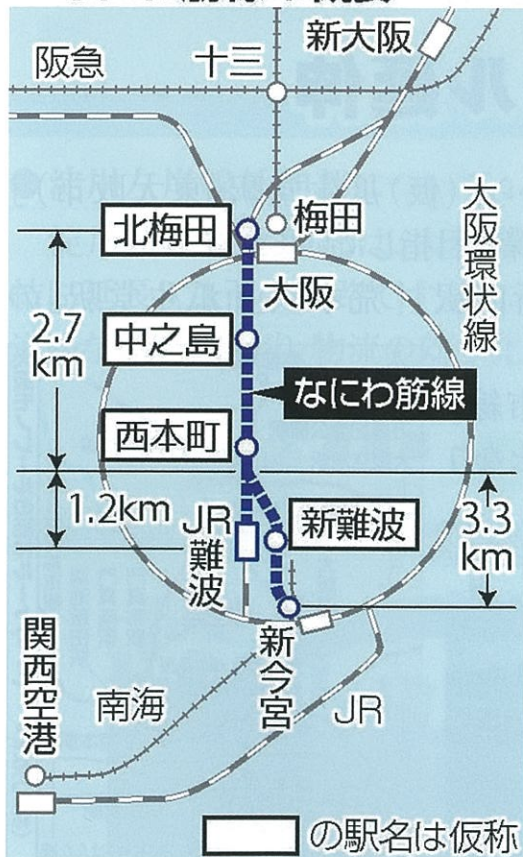
国土交通省は、2019年7月10日、大阪中心部を南北に通る新鉄道路線「なにわ筋線」(約7.2キロ)の事業を許可しました。2031年春の開業予定で、3300億円を投じ、関西空港-新大阪間の所要時間を8分程度短縮できる見通しです。

なにわ筋線はJR大阪駅北側の再開発地区、うめきた2期地区の地下に新設中の「北梅田駅」(仮称)と南海新今宮駅、JR難波駅を結び、両社の特急や普通列車が関空と直通運転します。

大阪市などが出資する第三セクター「関西高速鉄道」が建設主体となり、南海とJR西日本が線路などの使用料を支払う「上下分離方式」を採用します。事業費3300億円のうち約770億円を国が補助し、大阪府・大阪市がそれぞれ590億円、南海が185億円、JR西日本が145億円を負担。残り1020億円を、JRと南海が線路使用料として40年かけて返済する見込みです。

「なにわ筋線」と路線が競合する大阪市高速電気軌道(大阪メトロ)は、地下鉄御堂筋線や四つ橋線を中心に「(年間で)100億円近い減収影響が出る可能性がある」という見込みを発表するとともに、駅の改装や沿線の再開発で路線の付加価値を高め、マイナス影響を抑える意向も示しました。

国交相が許可した なにわ筋線の概要



北梅田駅が新設される うめきた2期地区



(注)「現状」はJR西日本と南海への取材、「なにわ筋線開通後」は国土交通省の試算をもとに作成

2037年 リニア中央新幹線全線開通

リニア中央新幹線は、2037年の大阪-名古屋間の開業により、大阪-名古屋-東京間が約1時間で結ばれ、3大都市圏で人口約7000万人、国内総生産約300兆円という、世界最大のスーパーメガリージョンが形成されます。日本経済の大動脈が二重化され、今後想定される南海トラフ地震による東西分断のリスクを軽減できるほか、人的交流の活性化やイノベーション促進や観光産業の拡大など、全国で年間1兆5600億円の経済効果が期待されています。一方、大阪-東京間の工事費は9兆300億円と見込まれています。



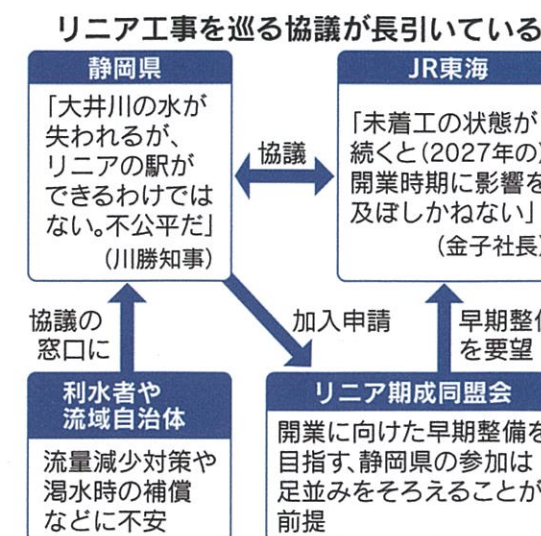
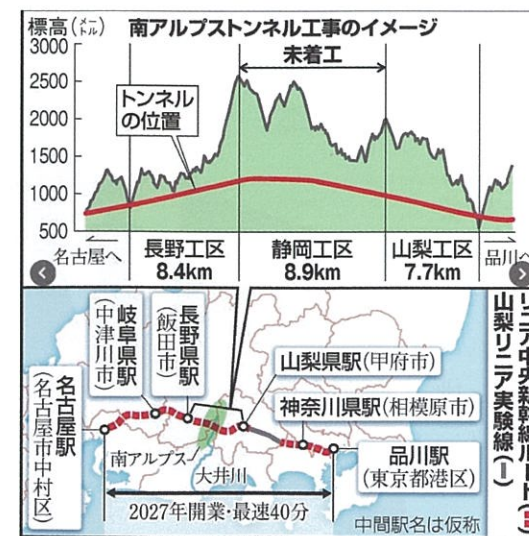
名古屋 - 東京開業による経済効果
年間8,900億円
(産業活動誘発4400億円、観光誘発4500億円)



大阪 - 東京開業による経済効果
年間1兆5600億円
(産業活動誘発7100億円、観光誘発8500億円)

一方で、先行している品川-名古屋間の工事(2027年開業予定)については、南アルプストンネルの静岡工区部分で、トンネル建設にともなう大井川の水量減少対策に静岡県が納得せず、現時点(2019年9月上旬)で工事が未着工になっています。また、静岡県は、駅を置かないことを認める代わりに、地域振興策も求めており、JR東海との間で基本協定の締結に至っていません。

静岡県とJR東海との対立に、リニア中央新幹線建設促進期成同盟会(会長:大村愛知県知事)は、工事の遅れなどをふまえ、現状を「看過できない事態」とし「国土交通省が調整すべき」と国の関与を求めていましたが、菅官房長官は、9月6日の記者会見で「開業予定の2027年に影響が及ばないよう国土交通省として必要な調整をする」と述べました。



2046年 北陸新幹線全線開通(新大阪-東京間)

北陸新幹線は、整備新幹線5路線のひとつで、上信越・北陸地方を經由して東京と大阪を結ぶものです(事業区間約700km)。

1997年10月に、高崎駅-長野駅間が整備新幹線としては初めての開業となり、高崎駅-東京駅間は、上越新幹線や東北新幹線を經由しています。

その後、2015年3月には、長野駅-金沢駅間が開業しています。

開業すると、敦賀駅-新大阪駅は約44分で結ばれることになるなど利便性が向上します。

建設費は、敦賀駅-新大阪駅間の部分で、約2兆1000億円が見込まれています。

JR西日本の来島達夫社長は「建設財源の確保は弊社としても大きな課題。議論を本格化し、方向づけをおこないたい」と前向きな姿勢をみせています。

大阪府の吉村洋文知事は、「北陸と大阪は昔からつながりが深く、観光文化交流は相互の大きな力になる。1日も早い開業に向けてしっかりと取り組んでいきたい」と決意を示しています。

北陸新幹線の全ルートが決まった



大阪を副首都に

我が国は、戦後の高度経済成長期より、一貫して東京一極集中により経済発展をしてきましたが、永らく低迷が続く経済成長が示す通り、東京一極集中モデルによるこの国の成長は、既に限界に達しています。一刻も早く、世界的な都市間競争に勝ち残り国の成長をけん引できる拠点都市を複数創出することが必要です。

更に、災害リスクを抱える我が国において、東京一極集中には大きなリスク要因です。国土の強靭性を高めるためにも首都機能をバックアップできる拠点都市の整備も急務です。この国には、副首都を担える拠点都市が必要なのです。

我々が目指す「副首都・大阪」は、東京とは異なる個性・価値観で民間の力を最大限に活かす「民都」であり、東西二極の一極として、平時にも非常時にも日本の未来を支えけん引する成長エンジンとなる存在です。



それでも維新の『身を切る改革』

改革をすすめない国会議員たち

参議院議員 東徹 Asuma Toru

非常識な国会にズバッと切り込む!

超高齢社会、人口減、増える税負担... 数々の困難を乗り越えるためには、日本維新の会が掲げる『身を切る改革』しかない!

特別対談 日本維新の会代表・大阪府知事 松井一郎 × 参議院議員 東徹

「大阪から日本を変える」

身を切る改革をテーマに本を出版

地方議員出身者から見た国会の理不尽な「非常識」の数々を指摘。国会議員自ら「身を切る改革」を行う必要性について、わかりやすく解説。

それでも維新の『身を切る改革』

改革をすすめない国会議員たち

著:東徹 単行本:192ページ

出版社:金風舎 出版年:2018年7月発行

ISBN:978-4903628332

アマゾンURL <https://amzn.to/2JWJpli>

出典		最終閲覧日
P3	大阪市ホームページ「こども本の森 中之島」への寄附のご協力をお願いします https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenyaku/page/0000420126.html	2019/08/20 15:00
	日本経済新聞「読者が自分づく」名譽館長就任の京大山中氏 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ048693730Y9A810C1AC8Z00/	2019/08/20 15:00
P4	阪神高速道路株式会社ウェブサイト「大和川線(大阪府道高速大和川線)」 https://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/building/yamatogawa/	2019/08/09 14:00
	阪神高速道路株式会社ウェブサイト「大和川線」 https://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/building/yamatogawa/comp.html	2019/01/10 18:20
	阪神高速道路株式会社ウェブサイト「大和川線」進捗写真(シルド工区) https://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/building/yamatogawa/album_yamatoto11.html	2019/08/09 14:00
	阪神高速道路株式会社ウェブサイト「大和川線」進捗写真(築港八幡町) https://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/building/yamatogawa/album_yamatoto_01_00.html	2019/08/09 14:00
P5	エンブレム・CIO/国際パラリンピック委員会/日本オリンピック委員会(JOC)/日本パラリンピック委員会/東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	2019/08/09 14:00
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会公式サイト「東京2020メダル」 https://tokyo2020.org/jp/games/medals/	2019/08/09 14:00
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会公式サイト「東京2020聖火リレー」 https://tokyo2020.org/jp/games/torch/	2019/08/09 14:00
	毎日新聞のニュース・情報サイト「検証・五輪1年前/6止 会場「後利用」揺らぐ」 https://mainichi.jp/sportspecial/articles/20190730/ddm/003/050/022000c	2019/08/09 14:00
	Sponichi Annex「報道陣に公開された新国立競技場の建設現場」 https://www.sponichi.co.jp/sports/news/2019/07/24/gazo/20190724s00048000168000p.html	2019/08/09 14:00
P7	日本経済新聞 電子版「維新・公明、大阪都構想推進で合意 再び住民投票へ」 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ045269840V20C19A5AC1000/	2019/08/09 15:00
P8	大阪市ウェブサイト「(仮称)大阪新美術館 基本設計の概要」 https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenyaku/cmsfiles/contents/0000020/20944/180126kihonseikeigaiyou.pdf	2019/08/09 14:00
	Atrip Museumウェブサイト「コレクションギャラリー」 「郵便配達夫(1928年)佐伯祐三」 http://www.nak-osaka.jp/gallery_34.html	2019/08/09 14:00
P9	星野リゾートホームページ ニュースリリース「星野リゾート OMO7 大阪新今宮」 着工のお知らせ 着工日:2019年6月1日 https://www.hoshinoresorts.com/information/release/2019/05/64950.html	2019/08/09 14:00
	星野リゾートホームページ ニュースリリース「大阪市新今宮駅前の都市観光ホテルの開発計画について」 https://www.hoshinoresorts.com/information/release/2017/03/24365.html	2019/01/10 18:30
P10	大阪府ホームページ「未来医療国際拠点の形成」 http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/32829/00000000/Pamphlet.pdf	2019/08/09 14:00
P11	大阪市ウェブサイト「大都市制度(総合区設置及び特別区設置)の経済効果に関する調査検討業務の調査結果に係る報告書」 http://www.city.osaka.lg.jp/fukushutosuishin/cmsfiles/contents/0000441/441469/houkokusyoyo.pdf	2019/01/10 18:50
	日本経済新聞「大阪都構想、歳出1兆円減り質疑 経済効果で法定済」 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ048989606W9A820C1A1000/	2019/09/09 10:00
	日本経済新聞「大阪都構想の経済効果 試算の前提に賛否」 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ049030190W9A820C1A1000/	2019/09/09 10:00
P12	三菱地所ウェブサイト ニュースリリース「うめきた2 再地区(民間提案街区) 開発事業 開発事業者に選定」 http://www.mec.co.jp/jp/news/archives/mec180712_umekita2.pdf	2019/01/10 18:58
	日本経済新聞「緑の広場 技術革新の源 うめきた2 再地区のグループに」 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ032930360S8A710C1KA000/	2019/01/10 19:05
P13	Osaka Metro「Osaka Metro 地下空間の大規模改革と夢洲駅周辺の開発への参画について」 https://subway.osakametro.co.jp/news/news/20181220_kataryokuinfura.php	2019/01/10 19:30
	日本経済新聞「万博誘致 変わるインフラ」 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ026664410Y8A200C1966M00/	2019/01/10 19:36
	日本経済新聞「大阪万博の会場「夢洲」ってどこ?」 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ038162360V21C18A1KA000/	2019/01/10 19:36
P14	首相官邸ホームページ「特定複合観光施設区域整備法に係る説明資料 説明資料」 https://www.kantei.go.jp/jp/singi/r_promotion/horitusetsumetaikai/setumel_siryou.pdf	2019/08/09 14:00
	大阪市ホームページ「大阪IR基本構想(案)」 https://www.city.osaka.lg.jp/fukushutosuishin/cmsfiles/contents/0000461/461104/05_shiryous-3.pdf	2019/08/09 14:00
	日本経済新聞「大阪IR、年内に事業者公募 国の方針決定前に」 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ049406810U9A900C1AC8000/	2019/09/09 10:00
	日本経済新聞「大阪府・市、IRの万博前開業に協力 環境アセス前倒し」 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ049253650R30C19A8AC8Z00/	2019/09/09 10:00
P15	OSAKA-KANSAI JAPAN EXPO 2025 ホームページ「万博概要情報」 https://www.expo2025.or.jp/attract/overview/	2019/08/09 14:00
	ロマーク ©2025 日本万国博覧会誘致委員会	2019/08/09 14:00
P17	大阪市ホームページ「淀川左岸線2期事業」 https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000159842.html	2019/08/09 14:00
	阪神高速道路株式会社ウェブサイト「阪神高速の取り組み 淀川左岸線(2期)」 https://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/building/yodogawa/2.html	2019/08/09 14:00
	阪神高速道路株式会社ウェブサイト「できたらどうなる? - 淀川左岸線」 https://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/building/yodogawa/comp.html	2019/01/10 20:15
P18	大阪市ホームページ「咲洲コスモスクエア地区の開発状況」 https://www.city.osaka.lg.jp/port/cmsfiles/contents/0000002/2523/kaihatushoukyouzu(H31.4).pdf	2019/08/09 14:00
	大阪市ホームページ「咲洲コスモスクエア地区のまちづくり」 https://www.city.osaka.lg.jp/port/page/0000002523.html	2019/08/09 14:00
	朝日新聞デジタル「大阪モノレール延伸、国が許可 南へ4駅、近鉄とも接続」 https://www.asahi.com/articles/ASM3M5CN4M3MPTIL02R.html	2019/08/09 14:00
	大阪モノレールホームページ「大阪モノレールファン 3000系」 http://www.osaka-monorail.co.jp/fan/3000kei.html	2019/08/09 14:00
	大阪モノレールホームページ「ラッピング列車」 http://www.osaka-monorail.co.jp/fan/wrapping_index.html	2019/08/20 15:00
P19	日本経済新聞「なにわ筋線 31年開業へ前進、国子算案に経費計上」 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ039233780R21C18A2AM1000/	2019/01/10 20:45
	讀賣新聞オンライン「なにわ筋線、事業許可... 梅田-開空を最速40分」 https://www.yomiuri.co.jp/economy/20190710-OYT1T50297/	2019/08/09 14:00
	日本経済新聞「キタミに新動脈 なにわ筋線、31年春開業」 https://www.nikkei.com/article/DGXLASJB23H36_T20C17A5LKA000/	2019/09/04 13:00
P20	国土交通省ウェブサイト「JR中央新幹線の概要」 http://www.mlit.go.jp/common/001058063.pdf	2019/01/10 21:05
	静岡新聞 SBS「リニア水戸線、静岡県が説明会 沿線都府県、山梨のみ「理解」」 https://www.at-s.com/news/article/politics/shizuoka/663246.html	2019/08/09 14:00
	日本経済新聞「JR東海と静岡県、深まる対立 リニア27年開業に影響も」 https://www.nikkei.com/article/DGXMZ045785040W9A600C1L91000/	2019/08/09 14:00
	朝日新聞デジタル「リニア工事立ち往生 JR東海の重なる冷遇に地元が反発」 https://www.asahi.com/articles/AS20181023005233.html	2019/08/30 16:00
P21	JR 日本東海ホームページ「E7系 かがやき/はくたか/つるぎ/あさま/とき/たがわ」 https://www.jreast.co.jp/train/shinkan/e7.html	2019/08/09 14:00
	日本経済新聞「北陸新幹線の全ルート確定 敦賀以西 31年着工」 https://www.nikkei.com/article/DGXLASF15H2U_V10C17A3PP8000/	2019/01/11 9:15

GO FOR NEXT ONE OSAKA!



LINE公式アカウント
始めます！

進化する大阪とともに、
東徹も進化を続けます！



LINEに登録頂くと…

1. 双方向のやりとりで
皆さんの声が政策に反映！
2. 見逃せない国会の情報を
タイムリーにお届け！
3. 東徹や維新の会のイベントを
ご案内！

ご登録お願いします！